

避難訓練「その瞬間どう判断するか！」 7 / 1 3

今朝は、「登校途中に大きな地震が発生したら、どうしたらよいか！」の訓練をしました。大切なこと2つお話をします。

- ① 地震続報を聞いた時や地震かなと感じた時、その瞬間、どう判断し、どう行動するかが、命を助けます。
- ② 地震が収まった音、地震が収まった後、どうするか。です。

① 今朝は、その瞬間、どう行動できましたか？

昨年度、同じ訓練をした時に、急いで校庭の真ん中に集合して、しゃがんでいる子がたくさんいました。それは危険です、というお話をしたことを、みなさん覚えてくれていたようです。

体育館の横を通ったり、歩いている間に、屋根や壁が崩れるかもしれません、大きな揺れで自分が倒れてしまうかも知れませんね。

いつもの訓練と同じです。どこが危険か、上から物が落ちてこないか、ガラス窓の近くにないか、自転車倒れてこないか、大きな机や棚が飛んでこないか、そんな危険を察知して、自分の身を守る行動をとることが最も大切です。

そのためには、その場にしゃがむだけでなく、すぐ近くに教室があれば、その教室の机の下に潜り込んで身を隠すことができるかもしれません。今朝は、昇降口で、ランドセルを頭の上に載せて、一番大切な頭を守っている子がたくさんいました。素晴らしいです。道路を歩いている時も、危険なものから身を守らなくてはなりません。

② さて、登校中、大きな地震が収まったら、どうするかです。

基本的には、そのまま登校して、学校で安全を守ります。でも、大きな地震、具体的には震度5弱以上の場合には、全員、保護者の方が、学校に引き取りに来ることになっています。登校直後に地震が起きた場合も、同じです。

ですから、朝、家を出たら、何が何でも学校に来なさい、ということではありません。たとえば、家を出た直後に、大きな地震が発生した場合、家に保護者がいるのであれば、家に戻った方がよいと思います。保護者と一緒に登校しているのであれば、そのまま家に戻ってください。あるいは、保護者と一緒に学校に来て確認してから戻ってもよいでしょう。

2学期の始業式の日引き渡し訓練があります。今日お話をしたことを、夏休み中にお家の人と確認しておくことも大切です。